



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

CENTENNIAL

Mar. 1984

II-9

THEME (1983~'84)

- I.P. REACHING OUT
`手を差し伸べて`
 - R.D. CREATIVE POWER
`創造への熱情`
 - D.G. 兄弟の愛をもって
 - P. ONWARD CENTENNIAL
- PART II

▽「BF」(Brotherhood Fund) 強調月間—日本区

3月例会プログラム

- | | | |
|-----|-----------------|-------------|
| とき | 3月21日(水) | 18:30~20:30 |
| ところ | YMCA国際・社会奉仕センター | |
| | 司会 桂 知良君 | |
1. 開会 山中 会長
 2. ワイズソング "Once More We Stand"
 3. 聖句朗読 西出 宏君
 4. ゲスト紹介 山中 会長
 5. 食前感謝「日々の糧を」—— 晩さん
 6. 役員会報告 山中 会長
 7. スピーチ「盲人情報文化センターの活動」
川越 利信君
 8. ドアブライズ・タイム 山村 幸明君
 9. 3分間スピーチ— 当日指名 メン・メネット
 10. 誕生日のお祝い 山中 会長
 11. ニコニコ・アワー 黒田 巖之君
 12. 委員会報告・YMCAニュース
 13. 閉会 山中 会長
- ▲例会当番(藤井・中川・桂・西出・山中)

▲ドアブライズ(福引き)のため各人適品をご持参下さい。



"By Faith"

Now faith is being sure of what we hope for and certain of what we do not see

さて、信仰とは、望んでいる事柄について確信を持つことであり、見えない事実を確認することです。
 (ヘブライ人への手紙 第11章第1節)

▽誕生日おめでとう

- | | | |
|--------|------|------------|
| 阪田 三枝 | メネット | 3月1日 |
| 森田 一美 | メネット | 3月4日 |
| 藤本 史郎 | 君 | 1941年3月14日 |
| 谷川 有美子 | メネット | 3月17日 |
| 鈴木 謙介 | 君 | 1912年3月26日 |

▽結婚記念日おめでとう

- | | |
|-------------|-------|
| 瀬戸 孝太郎、慶子夫妻 | 3月16日 |
| 山田 孝彦、道子夫妻 | 3月27日 |

2月例会 出席者 (在籍会員 35名)

	第1例会	第2例会	MaKeup	集 計
メ ン	21名	12名	3名	24名
出席率	60.00%			68.57%
メネット	4名			
コメット	1名			
ヴィジター	2名			
新 人	1名			
合 計	29名	12名		

- ヴィジター 中世古為幹君、永田省三君(大阪クラブ)
- メネット 鈴木、杉本、山田、山中各メネット
- コメット 山中圭さん
- 新 人 浦野啓一君(藤井君ご紹介)
- ニコニコ 32,550円(累計 139,020円)
- C S お年玉切手 128枚
- T O F 42,000円

こころ

「兄弟たち、マケドニア州の諸教会に与えられた神の恵みについて知らせましょう。彼らは苦しみによる激しい試練を受けていたのに、その満ちあふれる喜びとどん底の貧しさがあふれ出て、人に気前よく施す豊かさとなったということです」(コリントの信徒への第二の手紙、第8章1～2節)

最近日本では、教育を見なおさねば、という機運が高まっているというが、新約聖書の中でパウロによって書かれた手紙のこの部分は、教育の基本に触れている個所だといえる。

言葉遣いはいささか時代ががっているが、人間とはいかなるものか、また、人間は何をなするかという永遠の命題がここで明らかにされている。

第一は、人間が神の恵みを受けて生きている存在だという解釈である。

私たちの生命も健康も才能も決して私たちが思いのままにあがなつたものではない。健康を保つことにいささかの力を添えたのは、私だったかも知れない。しかしそうできる気力を与えられたということは、私の力ではなかったのである。

人間は基本としてまず与えられたのである。その関係はいわば神と人間との縦の関係だったが、それをもとに人と人との横の繋がりを作ることが可能になったのである。

恵みはギリシヤ語でカリスといい、この語は、ただ単に恩恵や賜物を指すだけでなく、それを自覚した人の行

曾野 綾子 (日本経済新聞より転載)

動の結果としての、善行や感謝などを含む。つまりギリシヤ人も、人間はよいことをしてもらったら、当然その後にお返しや感謝を考える筈だとしていたのである。

しかし私たち日本人は今、してもらって当たり前という姿勢に馴れきっている。「受ける権利」という言葉に表される戦後の考え方である。そして、受けると同時に与えることが自然なのだという点には、ほとんど教育的配慮が払われていないという異常事態である。

第二に、自然な人間性を、一番強く持っていたのが、貧しい人々だったという事実である。

パウロの時代、初代教会はあちこちで迫害を受けていた。またエルサレムには、貧しい信者たちがたくさんいて、パウロが彼らのために募金運動を約束して来たことは知られている。

ここでさりげなく述べられていることは、今も昔も、人のためにお金を出す人というのは、決して金持ではないというおもしろい現実である。むしろ、自分で苦しみを知っている人のほうが、その苦しみを原動力に人を助けようとする。このことは言葉を替えて言えば、逆境が豊かな人間性を作ることもあるという証明である。

しかし、今の日本の風土の中では、貧困にも価値と意味を見つけれることが人間性なのだ、などと言えるのは、無頼な小説家くらいになってしまった。与えることは、決してものを失うことではない。与えることは、得ることなのである。金は与えるとその時は減るかも知れないが、愛は違う。愛は与えれば与えるほど、増えるのである。

センテニアル、次期クラブ役員が決まる。— 2月例会 '84-'85年度のセンテニアルクラブ役員を選任については、既報のとおり山中会長以下6名の指名委員会により検討が重ねられた結果、2月例会の席上鈴木書記から指名候補者が発表された。全員一致でこれを承認し次期役員は以下のとおり決定された。

会長	中村 隆幸 君	
副会長	山田 孝彦 君	長安 敏夫 君
書記	堀 利満 君	藤井 保男 君
会計	柴田 健 君	西出 宏 君

2月はTime of Fastの月。例会の楽しみの一つである食事を断ち、世界の飢えた人々のために祈り、その苦しみ思いを寄せつゝ会が進められた。藤本CS委員長よりワイズダムのCS事業、TOF資金について報告を聞き、その活動の意義やYMCAとのパートナーシップに対する理解を一層深めると共に、飽食に馴れ感謝を忘れ、その為に現代病を患い悩む私達の日常生活を反省する一刻を持った。その後、去る1月10日われらのBCハワイヌアヌクラブを訪問し、友好交流の成果をもたらした松添君のおみやげ話を聞いた。内容は別掲のとおり。今月より杉本メネットが出席。山中ちあきメネット会長からセンテニアルのシンボルコサージュを贈り歓迎した。又、新人浦野啓一君の参加により仲間の輪が広がることを共に喜んで会を閉じた。

第2例会の記録 — 2月22日(水) —

- 3～6月例会の企画
3月はライトハウスの川越利信君より「盲人情報文化センターの活動」について話を聞きクラブより寄附を贈る。
4月は「ワイズメネット」強調月。メネットナイトとして例会運営をすべてメネット会にゆだねる。なおこの月よりYMCA土佐堀新館に会場を移す。
5月はオリンピックにちなんで、メルボルンの平泳ぎのゴールドメダリスト古川勝氏をスピーカーに招く。
6月はハワイ地区大会、ヌアヌクラブ訪問、日本区大会等の報告会を中心にし、又新旧役員交代式を行う。
- 中西部長公式訪問
4月18日の例会に横山中西部長の公式訪問を受ける。
- 本年度各事業委員会の総括。
あと4ヶ月となった本年度の各事業活動を総点検し今からでも出来ることは一つでも成果をもたらす様、担当役割を越えて力を合わせ努力する。
- 次年度各事業委員の役割分担について。
「全員参画」というセンテニアルの基本方針に基づき、各自から担当役割を先ず自己申告してもらい分担を調整して決めることとする。
- 出席率向上のための隘路となっているスリーピングメンバーへの督励とフォローの進め方につき協議した。

• THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL •

ホノルル・ヌアヌクラブ訪問記

松 添 壮

去る1月10日、ハワイ出張の機会を利用して、ホノルルの私共のブラザークラブであるヌアヌクラブを訪問しました。今回は私にとって2度目の会合でしたから、前回にも増して親しみ深い印象を得ました。

BC委員長のラリー・平中君をはじめピーター・アックマン、ロバート・桑原、モーリス・下西、ジェームス・大内の各君計5人で心温まる歓迎を受けました。宿泊先のワイキキ・シェラトンホテル玄関で約束した夕刻にお迎え頂き10分程山手にドライブ、先ず有名なレストラン、チャック・ステーキハウスで美味しい楽しい夕食会に招かれ歓談の後、程遠からぬ処にある平中委員長の宅にお招きを受け、私共6名に平中夫人をまじえて彼女の御手製のデザートに舌づつみを打ち、和やかな雰囲気はまるで全員同一家族のようなホームステイを体験致しました。全くワイズメンの兄弟クラブならではの貴重な経験です。

4人の苗字が皆日本名で、顔も私共と同じ日系ですが交わす言葉は全部英語。考え方もアメリカ流ですが、それでも話し合っている間は国籍の差異を感じさせないこの親密感格別のもので、ホノルルが大陸間の空路接点に位置している関係上、このクラブを一時訪問するワイズメンは少ないとの事ですが、いささかの疲れも面倒臭さも表さず終始明るいスマイルで接する彼等の応待に頭の下る思いです。来る5月開かれる第48回ハワイ地区Y'S大会参加について具体的な打合せを致しましたが、すべてスムーズに談笑のうちに終了しました。

私共は特に仲良し兄弟同志の一語に尽きる感じで、ホームステイ体験を含め彼等の期待に応えて一人でも多く弟クラブである当方からの参加を約し、クラブ記念品のお土産まで頂いて帰国の途につきました。



ロバート・桑原氏 平中氏夫人

モーリス・下西氏 ピーター・アックマン氏
ジェームス・大内氏 ラリー・平中氏

センテニアル・ハワイ訪問旅行の日程

5月25日(金) 18:25、大阪発 — 25日 06:10 ホノルル
經由 — 08:47、マウイ島着 — 25日午後ハワイ地区大会
出席 — 26日(土) 27日(日)、終日大会に出席 — 28日
(月) 29日(火) ヌアヌクラブメンバー宅ホームステイ
30日(水) ホノルル発 — 31日(木) 15:00、大阪帰着。

IBC-NUUANU Y'S UP <2月号>より

◎Welcome. WEST OAHU Y's Men's Club

The newest club in the Hawaiian Region, the West Oahu Y's Men's Club, was chartered by U. S. Area president IVAN KLATT on January 14, 1984 at the Kemoo Farms Restaurant in Wahiawa, Hawaii.

Ninety one Y's Men, spouses and guests were in attendance including many from the neighbor islands and the Western Section of the U. S. Area.

The charter officers, also installed in a ceremony during the event, were President ALLEN WATANABE, Vice President JACK ENDO, and Secretary-Treasurer CINDY KAWAMOTO.

◎MAURICE SHIMONISHI Receives ELMER CROWE AWARD

MAURICE SHIMONISHI received the ELMER CROWE AWARD for outstanding service as Metro District Director in 1982-83. The award was presented at the Chartering Banquet for the West Oahu Y's Men's Club on Jan. 14, 1984.....a fitting time as he was instrumental in organizing this group during and after his term as DD. WELL DONE, MAURICE.

◎Brother Club News-OSAKA CENTENNIAL

An informal dinner welcoming Tsuyoshi Mstszoe was held at the Chuck's Steak House in Manoa Valley on January 10th. Members attending the dinner were Larry Hirannaka, Maurice Shimonishi, Bob Kuwahara, Peter Ackman, and Jimmy Ouchi. Discussed, among other matters were the anticipated visit to the islands by members of the Osaka Centennial Club in attending the Hawaii Region Convention to be held on May 26th, 27th, and 28th on the Island of Maui. Post convention home stay arrangement on Oahu with families of the Nuuanu Club was also discussed. Subsequently, a copy of the Convention application form was forwarded to the Osaka Club together with an open letter of invitation. Tsuyoshi is the Osaka Club's YEEP Chairperson and did present a proposal that a YEEP program can be worked out between the two Clubs, perhaps, on a limited basis, at the outset. That is having exchanges of two or three weeks during the summer.

今月の聖句によせて

黒田 巖之

キリスト教を知らない方は、「信仰」というと何か大変むつかしいことのように考えたり、また信心という日本古来の考え方に影響されて、何かご利益(りやく)を求めるためのものなどと考えられる場合があります。

しかしキリスト教でいうところの信仰は、今月の聖句に明快に示されているように、自己の生き方を強める信念のようなものと云えましょう。

自分が望んでいる事柄に対して確信をもつことは、その人に強い生き方をさせてくれます。そして、この「確信」は、実は人間は一人ひとりが神からその人独特の使命を与えられてこの世に生れてきた「一人あって二人とない」貴重な存在であり、それ故に徹力な存在のように思える自分でも、常に神の愛によって守られ、導かれているという見えない事実の確認にもとづいていることを忘れてはなりません。

(「」内は故湯浅八郎博士の言葉です)

在京コメントを囲んで……

“東京クラブ5月例会のご案内”

(Home Away Home Night)

と き 5月8日(火) 6:30pm

と ころ 東京YMCA

CS事業の一つの柱として、私達のクラブ(東京クラブ)では故郷を離れて東京で勉学中の学生を対象にして、一夕例会に御招待して家庭の雰囲気の間分かでも味わってもらおうと、例年Home away home night(在京コメントを囲んで)というプログラムを持っています。今年も5月8日(火)6時30分から東京YMCAにおいて、通常例会としての会を持つ予定にしています。

4月に入学する学生も含めて、東京YMCA(千代田区美土代町 Tel 293-7011)に来れるコメントに今から連絡をとって下さい。すばらしいゲストスピーカーも揃えて期待にそむかないようなものにしたいと思います。

手作りのおいしい食事にメン、メネット、コメント共々ニコニコの例会にしたいものです。参加出来るコメントがいっぱいありましたら東京クラブまでお知らせ下さい。コメントの氏名・住所・電話番号・大学・会社名等をお知らせ下さい、こちらからも連絡します。御参加をお待ちしています。東京ワイズメンズクラブ 会長 庄司征彦 <ご希望の方は山中会長までお申し出下さい。>

NEWS IN BRIEF

●谷川寛君次期ICMに当選

当クラブよりの推薦にてワイズ国際議員(ICM)選挙に立候補中であった谷川君はこのたびめでたく当選され、アジアエリアのA. P. GOH SOON HOCK氏よりその旨の連絡があった。同君は現在もその任にあります。引続き'84年7月より3年間国際議員を務めることになった。ご活躍を祈る。なおアジアからの今一人の国際議員は台湾のHOPE LAN氏が選ばれた。

●次期国際会長(IP)も決定

次期国際会長の選挙では米国のJOSEPH ANDERSON氏が当選し、決定した。

●会員消息

▽川越利信君。次女千樹野さん誕生。1983年12月21日

▽中村隆幸君。長女圭さん誕生。1984年1月30日。

おめでとうございます。

▽杉本兌子メネット。1月より夫君に合流され、2月例会から出席。メネット会での活躍を期待します。

▽横山豊君。1月12日台北中央ワイズメンズクラブの例会に出席されました。

▽谷川寛君。2月7日大阪南ロータリークラブの例会に招かれ、世界理解月間の卓話として「海外商取引における相互理解」と題する話をされました。

さらに3月8日(木)には京都ウエストクラブの例会で「最近の国際ワイズの動き」についてスピーチされる予定です。

▽森庄司君、松添社君も京都ウエストの例会に出席してハワイ地区大会参加についてPRされることになっております。

▽正司泰子姉。夫君泰一郎氏の活動内助の為しばらく欠席がちでしたが、このほど一段落され今後は再び積極的に参加しますのでよろしくとのお便りがありました。

▽黒田巖之君。「関西いのちの電話」に賛助のためのチャリティ絵画展が2月23日~28日・大丸心斎橋店で開催され、小磯良平画伯ほか美術家連盟の諸作家による作品約100点が寄せられ展示即売されました。「いのちの電話」10周年の記念事業としての企画運営に大活躍をされました。

●EMC通信

3月例会で楽しいドア・プライズ(福引き)を行います。お手許のありあわせの品物で景品として適当なものを、各人ご持参ご提供下さい。

第39回 日本区大会は仙台です

(第二次登録〆切 4月30日まで)

メ	ン	26,000円
メ	ネ	25,000円
コ	メ	10,000円

☆
ワイズは北に向って
☆
1984年6月2日土曜3日日

・ THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL ・

§ 一枚の写真 §

ワイズ交友録 Ⅲ

鈴木 謙介



韓国から最初の国際会長（IP）の Joseph Ohm 嚴堯 燮（オム・ヨー・スッパ）が珍らしくもメネットの Kim Sung Heh を伴って1982年2月東京に来た時の写真です。ワイズの親友の一人です。彼に最初に出会ったのは1974年下関における日本区大会で、私にとっては比較的新しい友ながら彼は国際副会長として、私はIPEだった。そのときの彼は記念講演の中で「日本とアジアの間には誤解が多すぎる。日本はもっとアジアに関心を持ち理解しようよう努力すべきだ」とも訴えた。彼はこれより先、第一代韓国大使として東京に駐在したことがあるので、そして更に若き日、関西学院神学部で学んだので日本をよく知る人でもあった。ソール漢陽クラブのチャーターメンバーで韓国区第三代理事であった。郷里は今の北朝鮮側で少年の日ソールで学んだ。当時総督府の命令による神社参拝を拒否する運動を行って罰をうけたこともあるやに聞いた。今や韓国ワイズの父とも呼ばれ別格扱いをうけている。牧師であり、社会学者でもある。近年足を痛め数回の手術をうけたが今ははぐ治っている。

一昨年のソールに於ける国際大会は彼にとって生涯の最良の日だった。この大会のAdviserをつとめた私にも快心の時だった。その上ハリー・バランタイム賞を彼の手からもらったのは最もうれしかった。外交官をやめてからの彼はロッテの役員としてソールで働いていたが、今ではそれを辞してキリスト教の産業伝道のための団体を組織して、ソールYMCA内のワイズメンアジアOfficeに毎日出勤して韓国の四つの区の協議会のためにも助言をしたりしている。彼は白髪、高背の偉丈夫で長者の風格は、東洋的伝統に加えてしっかりしたキリスト教信仰が作ったものである。最近六甲の日韓リーダーセミナーから帰国して筆者に「こんど日本に行ってよく勉強しました。韓国のワイズメンはもっと組織化されなければならないことと意識化が必要です。即ちトレーニングが必要です。私の教会説教でセンテニアル人形の話もしました。このたびは余りにもお世話になりました」といつてきた。過日私宅に宿ったとき、よもやまの話の中にむかし関学神学生だった頃アルバイトとして阪神国道の道路舗装の労働をやった。そのとき仲間の労働者が君は学者だから重労働はするなといって、かばってくれた事があったといって懐かしがっていた。彼のような広い視野と広範な知識と高度の識見の人士は母国韓国にもっと役立つ場所と機会があっても良い。

彼には在米の息子とお嬢さんがいる。

§ 一枚の写真 §

どうぞよろしく

照屋 貞夫

私は本年1月7日の合同例会で入会させていただき、大へん光栄に思っております。

一枚の写真で、私の家族を紹介させていただきます。これは、昨年11月17日父が藍綬褒章を受章し帰阪した時の記念写真です。



私、(父)源徳 (母)豊子
人史 充香 育子

父は大正3年11月9日沖縄に生まれ、14才の時1人で大阪にやって来て苦勞を重ね昭和26年に、現在のナショナルタクシー(株)を設立し現在に至っております。

母は大正9年11月3日文化の日生まれ63才です。

メネット育子は昭和46年武庫川女子大学を卒業し、現在35才。長女充香(みちこ)は小学5年生、長男人史(ひとし)は小学3年生とヤンチャ盛りです。

最後に私は昭和17年6月13日生まれ、42年大阪大学工学部を卒業し、現在父の会社に勤務しております。

どうか今後ともよろしく願います。

— < Y M C A ニ ュ ー ス > —

▽ロナルドD・ルース主事をご紹介します。

上記ルース主事が3ケ年間、大阪YMCAの協力主事として働くことになり、この程来阪しました。同氏はかつて富山Yの協力主事として来日したこともあり、その後は世界同盟の主事としてベトナム難民事業を担当、帰米後は北米同盟やヒューストンYで難民プログラムに従事しました。

大阪では新会館の国際文化センターのスタッフとして活動しますが、当国際・社会奉仕センターの仕事にも協力することになっています。大阪では日本語で仕事をいたしますので、お気軽に話しかけて下さい。

▽フィットネスセンターのご案内

ご承知のように新会館の地下には体力づくり・健康づくりを目指した、フィットネスセンターがあります。既に登録受付が2月よりはじめられていますが、3月5日より23日まで各種のオープンプログラムが行われます。皆様のご見学やご参加を歓迎いたします。無料招待券がありますので、田中までお申出下さい。

▽韓国語を学びませんか

国際理解はまず言葉からです。とくに近い国、韓国の言葉を学ぶ必要性が増大しています。当奉仕センターでは数年前から韓国語講座を開設しています。4月から新学期がはじまります。詳細は受付まで。